

イベント（講演）名	平成 18 年度第 5 回 IT 交流プラザ 「クリエイターズセミナー③」
主 催	郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 (財) 郡山地域テクノポリス推進機構
開催又は実施年月日	平成 18 年 7 月 18 日（火）
開催又は実施場所	ビッグパレットふくしま（郡山市）
参加人員	約 60 名

クリエイターの相互研鑽をはかり、郡山地域内のクリエイターのスキルアップ支援をし、またホームページコンテストを活発に盛り上げていくために、5 月よりシリーズ化したセミナーを開催しています「クリエイターズセミナー」ですが、早くも第 3 回を迎えました。今回は、「Webクリエイターの必修科目」と題し、Web 2.0 時代に向け、実際には何を勉強しておくべきなのか、技術的な講演をしていただきました。

●セミナー「Webクリエイターの必修科目」

講師：(株)リアルインデックス テクニカルディレクター 國分 亨 氏
コーディネーター：エヌケー・テック株式会社 代表取締役 内藤 清吾 氏

株式会社リアルインデックスにて、テクニカルディレクターとして、さまざまなサイトのデザイン、立ち上げに携わり、コーディネーターの内藤氏からも理想のクリエイター像と言われる國分氏に、最新のWeb技術の説明とその技術を習得するためにどんなことをすべきかについて、説明していただきました。



(株)リアルインデックス 國分 亨氏

はじめに、現在 Web クリエーターとして必要なスキル、キーワードの例として、「Apache」、Dreamweaver」、**「XOOPS」**などのキーワードをあげ、これらを全て完璧に使いこなしたり、習得したりすることは無理だと説明し、クリエイターとして、これから活躍していくためには、自分で好きなこと、得意なことを育てていくことが大切とし、その得意分野を伸ばすためにすべきことを「参加者限定アンケート」を実施しながら、個別項目ごとにアドバイスされました。

まず「CSS (スタイルシート)」については、W3C からも勧告がでてるように、これからクリエイターとして活躍していくために必ず使えるようにしなければならない、そろそろ始めていないといけないとし、「Flash」については、アニメーションだけでなく、スクリプトも使えるようにしておいた方がよいとおっしゃられました。その他、「プログラム (Perl や PHP)」については、苦手意識をなくして少しずつやれば簡単なカスタマイズが可能ならいにはなるので、ぜひやってみることをお勧めするとのことでした。また「JavaScript」が苦手というアンケート結果を受け、JavaScript か ActionScript どちらかを覚えれば、どちらも得意になれるのでチャレンジしてほしいとし、「XML」については API と呼ばれるサービスを利用する際には、必ず使えなくてはならない技術なので XML を習得して、Flash と組み合わせたり、JavaScript と組み合わせたりして、自由な表現を楽しんでほしいとのことでした。流行の「ブログ」については、クリエイターとして使うならば、Movable Type (MT) を使った方がシステム開発とまではいかなくてもいろいろなことができるので、MT がお勧めだとし、國分氏自身は MT しか使っていないと語られました。また「XOOPS」などのオープンソースは PHP などのプログラムも覚えることができるし、オープンソースでできることに限りがあるので、自分なりにカスタマイズすることがスキルアップにつながるとのことでした。

これらのお勧めの技術やアドバイスをしたあとで、どうやってスキルを高めていくかとい



うことを説明され、まず「スキルはどんどん古くなる（スキルの陳腐化）」、「今知っている技術だけで、あと10年後仕事ができるか？」と意識をもち、スキルの陳腐化を防ぐためにも新しいことを覚えていこうという姿勢が大切。また新しいスキルをもっていることで、ビジネスチャンスが広がるというメリットを考え、そういった意味でも新しい技術にチャレンジしようと思う気持ちが大切。そして、新しいことにチャレンジすることを苦痛ではなく、楽しい

おもしろいと思えることがスキルアップへの道には大切だとし、具体的に新しい技術を身につけるためには、まずは情報に辿り着くことがもっとも重要だとされ、國分氏は、自身のスキルの約半分はネット上から吸収したものであるという経験から、「ソーシャルブックマーク」を使ってどのパソコンを使ってもブックマークを参照することができるようにすることや、「RSS リーダー」を使って最新の情報を拾い読みすることや、「SNS」で情報の交換をすることなど常にアンテナを張って最新情報にアクセスしてトレンドをチェックし、そしてチャレンジすることでスキルアップが図れるのではとのことでした。早く情報をキャッチできれば、流行がくる前にその技術を試すことができるため、流行しだした時にはすでに使いこなせているなんてことができたら格好いいと思いませんかと語られました。ただし、新しい技術などやってみたいと思ってチャレンジしてもつまづくこと、うまくいかないことも多いので、自分のペースで継続することも重要。

最後に、覚えるべき技術が多くて悩ましい Web 技術について、國分氏がお勧めの技術や技術の組み合わせについて提案され、API や JavaScript を覚えたいという方には「Google Maps」が他の API に比べて比較的簡単なのでお勧めだとし、カスタマイズや PHP やブログの連動などをすることでより高度なスキルを身につけられるきっかけになるとし、次に今、一番のお勧めは、Flash+ブログを説明され ActionScript を使って XML データを加工できるようになれば、自然と JavaScript も覚えられるようになるとのことでした。もしくはオープンソースに触れてみてはどうかとし、テンプレートファイルまたはテーマと呼ばれるもののカスタマイズを行い、トライ&チェックを行うことでスキルアップにつながると説明され、そして最後にお勧めのものとして、Ajax にチャレンジすることを提案されました。

國分氏は、これらのスキルはすべてほんの一例なので、自分で楽しいと感じたこと、出来そうだったことをチャレンジしていただければと思いますと述べられ、講演をしめられました。

講演後、コーディネーターの内藤氏から、デザインもプログラムも両方できる國分氏のようなスーパーマンにみんながなれるわけではないのでは？とし、どうやってそういうスキルを身につけていったのか？と聞かれ、國分氏は HTML の四角い世界ではなく、Flash の自在な形の世界に魅了されたのが、Web の世界にはまったきっかけで、もし、参加者のみなさんがスキルを身につけるきっかけとしていただけるなら、身近なテレビや映画などの画像やデザインを自分もつくれるかもしれない、あの動きを真似して作ってみよう



と見るモノすべてをデザインしてみたいと思ってみたらどうかと答えられました。そして、自身の経験から、たくさんのデザインを見る、人が作ったモノを見て自分も作ってみたいと思うことが大事なのではと訴えました。最後に内藤氏からクリエイターはこれだという意見を求められ、「クリエイトの前に Web という言葉がついているからわかりづらいが、生きていること自体すべてがデザインするということ。どんな家にするか、どんな車を買うかもすべてクリエイトだったり、規格だったりする。そのような感覚で、Web クリエイトもしていただくと発想が軽くなる」と Web クリエーターとしての感覚を述べられました。